

江府町  
地域おこし協力隊  
通信

9名の協力隊員のうち、令和5年3月末で3名が卒業を迎えます。協力隊期間中、何を学び、何を残したのか。今月号は卒業する3名の活動を紹介します。ぜひご覧ください。

今月号のテーマ  
「卒業」

農業部門（活動内容：作物を使った商品開発など）



にししま としあき  
西嶋 俊明

2020年に地域おこし協力隊として奥大山江府町に着任して、令和5年3月で3年の任期を終えます。全く知らなかったカモミール栽培を試行錯誤しながら成功させ、一年足らずで道の駅の棚にお茶を並べることができました。今後も町内の魅力発掘に関わっていきながらカモミール商品の開発、観光資源としての提案をしたいものです。

人生の終盤、この肥沃な豪雪地帯で得難い経験をいたしました。「頑張れ！」と発破をかけてくれた古巣チョーヤ梅酒の金銅会長、カモミールを勧めてくれたクシロ薬局の尾崎氏、加工に助言をいただいた岩崎さん、支えてくれた役場職員の皆様、その他ご協力いただいた沢山の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。



▲カモミール

ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき  
阿部 将樹

2023年3月31日をもって、地域おこし協力隊の任期が終了します。2020年8月から数えて2年半超。時間が過ぎるのはあっという間です。

初めての鳥取県。縁もゆかりもない自分にとって、江府町の皆さんが優しく受け入れてくれたことは非常にありがたいことでした。お肉やお野菜、お酒のおすそ分けをいただいたり、歓迎会・送別会を開いていただいたりなど、最初は「移住者」として気が引けていた自分が、この町に溶け込むことができました。町民の皆さんには感謝してもきれません。

4月からは実家がある東北へと戻ります。距離は離れてしましますが、今後もまなびや縁側と関わり続け、生徒の成長を見守っていく予定です。

唯一悔やまれることは、2020年～2022年の間、江府町が最も賑わう「江尾十七夜」が規模縮小開催だったこと。その悔いを晴らすためにも、また必ず江府町に帰ってきます！その時は何卒よろしくお願いします！



▲着任当時の様子



▲まなびや縁側  
江府拠点での様子

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務）



もりもと くみ  
森本 久美

3月末で地域おこし協力隊の契約を終了し、4月よりまた新しい場所での生活をするようになりました。2年間お世話になりました。

今年は、はじめての学校勤務となり、戸惑うこともたくさんありました。ですが、先生方や生徒のみなさんとコミュニケーションを取りながら、どんな本を入れたらいいか、どんな図書館にしたらいいか、試行錯誤しながら少しでも入りやすい図書館にしようと心掛けました。広い空と、おいしい水と、優しい人たちとの思い出はたくさんあります。町立図書館も、奥大山江府学園もどんどん新しく良くなっています。皆様、これからもお体に気を付けてたくさん本を読んでください。



▲2月はお菓子作りの本の特集をしました



▲図書館だよりはカラフルに読みやすく工夫をしました